

# トルコ金融政策（2024年4月）

## 政策金利を50%に据え置くことを決定

2024年4月26日

### 既往の利上げの効果を見極める時間帯が続く

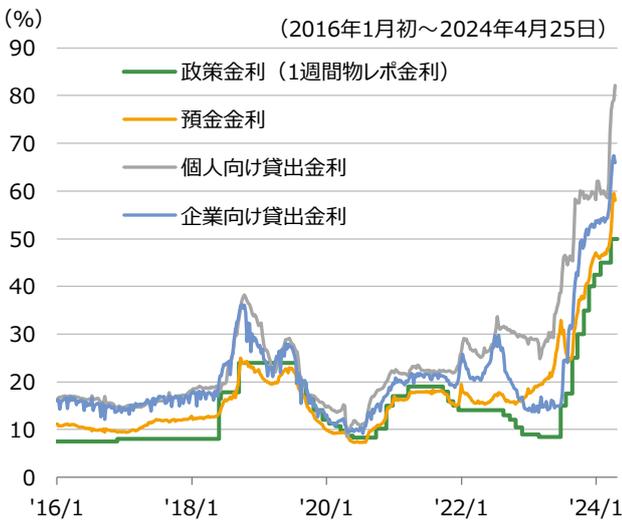
トルコ中央銀行は4月25日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利（1週間物レポ金利）を50%に据え置くことを決定しました。

前回3月会合では政策金利を45%から50%に引き上げることを決定しました。その後、3月末に実施された地方選挙を波乱なく通過してトルコ・リラが対米ドルで安定的に推移する中、3月消費者物価指数が市場予想を下回ったこともあり、今会合では政策金利の据え置きが予想されていました。

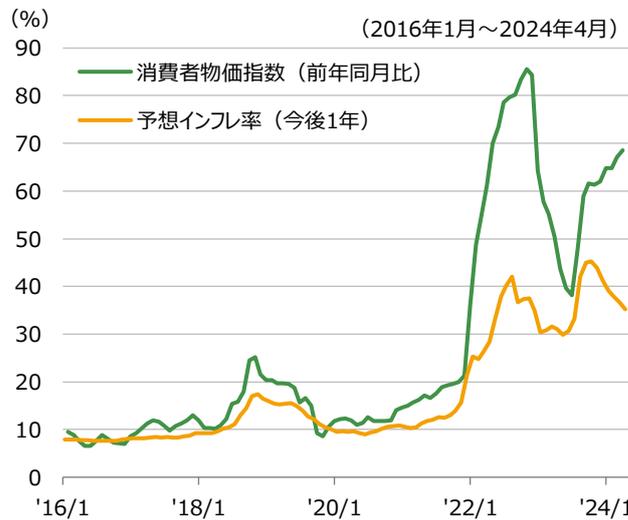
声明文では、3月の利上げによって金融環境は著しく引き締まったと評価し、金融引き締め効果のラグを考慮して今回は政策金利の据え置きを決めたと説明しています。また、引き締めの金融政策による内需の減速やトルコ・リラの実質的な上昇、インフレ期待の改善（低下）を通じて、今年後半にはインフレ率（消費者物価指数・前年同月比）が明確に鈍化するととの基本シナリオを維持しています。他方、インフレ高止まりへの警戒感も示しており、「インフレ率の大幅かつ持続的な悪化が予想される場合には金融政策スタンスを更に引き締める」と、状況の変化に応じて利上げ再開も辞さない構えです。

トルコ中銀の引き締めの金融政策などによって、今後もトルコ・リラは対米ドルで緩やかなペースでの減価にとどまると想定されます。また、中銀の基本シナリオ通り今年後半にインフレ鈍化が明確になれば、年終盤以降の利下げが意識されることで、トルコ国債の価格上昇（金利低下）も期待されるでしょう。

#### トルコの政策金利と預金金利・貸出金利



#### トルコの消費者物価指数と予想インフレ率



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。